

2019 年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2202121	PC 活用 I Applied Computer Practice I	丹羽誠次郎	専門	2	選択	2年 後期

科目の概要

この科目では、ペイント系のソフトウェア（Adobe Photoshop）の基本操作を確認しながら、ラスターイメージの特徴を理解し、画像の補正、画像の合成・加工といったコンピュータによる画像編集の方法を実践的に学んでいく。

ここで修得する知識・技能は今後、様々な授業内でビジュアルプレゼンテーションを行う際に、また将来的には新しいライフスタイルのデザインを提案する際に有効に活用できる。

学修内容	到達目標
① ラスターイメージの特徴を知る。	① ラスターイメージの特徴を理解し、説明することができる。
② Adobe Photoshop の基本操作を学び、機能毎に練習課題で操作法を確認する。	② Adobe Photoshop を使って、画像の編集、加工ができる。
③ 適切な機能の選択、組み合わせより、独自の表現に導く方法を知る。	③ 与えられた課題に対して創造性を発揮し、独自の表現へと昇華できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	授業時間外の時間を使い、課題の準備、操作方法の予・復習に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	課題の作成にあたって自ら高い目標を設定し、そこへ到達するための努力ができる。
考え抜く力	課題発見力	課題作成のために複数の事例にあたり、発想を広げることができる。
	計画力	課題作成のために与えられた時間を有効に活用し、作品を高い完成度に導くことができる。
	創造力	課題の条件を複数の観点から検討し、先行事例を有効に活用しながら独自性のある作品を完成させることができる。
チームで働く力	発信力	課題作品のコンセプトを作品内に反映させるのみならず、口頭でも説明できる。
	傾聴力	学生同士で意見を交換しながら課題作成に取り組むことができる。 他学生の課題作品のプレゼンテーションから、新たな価値を見出すことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	練習課題を条件に従って作成し、かつ期限内に提出できる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

ピクセルハウス『世界一わかりやすい Illustrator & Photoshop 操作とデザインの教科書』技術評論社, 2015.
※3年前期『PC 活用Ⅱ』でも続けて使用する。

他科目との関連、資格との関連

『PC 活用Ⅱ』 『PC 活用Ⅲ』の受講を希望する学生は、この科目を受講しておくこと。

学修上の助言	受講生とのルール
コンピュータの特性を活かしながらグラフィックデザインの仕組みを考察し、各自の表現へとつなげていくために、日頃から様々なメディアを通してすぐれたデザインを接することを心掛けること。	課題の作成にあたっては、アイデアの検討や材料の収集などを事前にしっかりと準備しておく必要がある。また、より良い作品にするためにも授業時間外で作業に充てる時間を惜しまないようにすること。 6回以上の欠席(遅刻は3回で欠席1回分とする)は科目放棄とみなす。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①	
		②	
		③	
小テスト		①	
		②	
		③	
レポート		①	
		②	
		③	
成果発表 (口頭・実技)		①	
		②	
		③	
作品	90	①	・練習課題については ①操作方法の理解度 ②作業の丁寧さ ・課題作品については 技術力…作品の完成度(授業内で覚えた機能的確な使用) ③表現力、企画力…作品の構成や工夫を軸に評価する。
		②	
		③	
		④	
		⑤	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	【主体性】授業時間外の時間を使い、課題の準備、操作方法の予・復習に取り組むことができている。 【実行力】課題の作成にあたって自ら高い目標を設定し、そこへ到達するための努力ができている。 【課題発見力】課題作成のために複数の事例にあたり、発想を広げることができる。 【計画力】課題作成のために与えられた時間を有効に活用し、作品を高い完成度に導くことができる。 【創造力】課題の条件を複数の観点から検討し、先行事例を有効に活用しながら独自性のある作品を完成させることができる。 【発信力】課題作品を口頭でしっかりと説明できる。 【傾聴力】学生同士で意見を交換しながら課題作成に取り組むことができる。他学生の課題作品のプレゼンテーションから、新たな価値を見出すことができる。 【規律性】条件を満たした上で期限内に提出物を提出することができる。
		②	
		③	
		④	
		⑤	
総合評価割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
①場面に応じて Adobe Photoshop の諸機能を適切に選択できる。 ②複数の視点から与えられた課題を検討した上で、創造性を発揮し、独自の表現を示すことができる。 ③作品のデータが、正確かつ丁寧に仕上げられている。 ※上記3項目の基準を全て満たし、そのうち1項目以上の基準に対して極めて高い評価が与えられると判断された場合、S(秀)評価をする。	①Adobe Photoshop の操作法が理解できており、自由に扱うことができる。 ②与えられた課題に対して創造性を発揮し、作品を制作できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	ペイント系ソフトウェアの特徴とPhotoshopのインターフェイスを理解する。	講義と質疑応答 実習:基本操作の確認	Photoshopのインターフェイスが理解できる。	(予習)シラバスを読み、科目の概要を理解しておく。 (復習)Photoshopのインターフェイスを再確認する。	90 90	主体性
2週 /	ブラシツール、消しゴムツール、色の選択など、描画と修正の方法を知る。	実習:基本操作の確認と練習課題の作成	ブラシツールを使用して自由に描画ができる。	(予習)塗りつぶしツール、グラデーションツールの操作方法をテキストで確認する。/(復習)学んだ操作法を再確認し、未完了の練習課題を完成させる。	90 90	実行力 創造力
3週 /	塗りつぶしツール、グラデーションツールなど描画の方法を知る。	実習:基本操作の確認と練習課題の作成	グラデーションツールを扱うことができる。	(予習)画像の範囲の選択指定方法をテキストで確認する。 (復習)学んだ操作法を再確認し、未完了の練習課題を完成させる。	90 90	実行力 創造力
4週 /	画像の範囲の選択指定方法と選択範囲に対する処理の基本を知る。	実習:基本操作の確認と練習課題の作成	画像の任意の箇所を複数の方法で選択することができる。	(予習)画像解像度とドキュメントのサイズの関係性をテキストで確認する。 (復習)学んだ操作法を再確認し、未完了の練習課題を完成させる。	90 90	実行力 創造力
5週 /	画像解像度とドキュメントのサイズの関係を理解する。	実習:基本操作の確認と練習課題の作成	画像解像度を変更し、画像の任意の部分をトリミングできる。	(予習)色調調整の方法をテキストで確認する。/(復習)学んだ操作法を再確認し、未完了の練習課題を完成させる。	90 90	実行力 創造力
6週 /	色相、彩度、明度、コントラストの調整、その他の効果による画像の色調調整の方法を知る。	実習:基本操作の確認と練習課題の作成	色調の補正をおこなうことができる。	(予習)レイヤー機能をテキストで確認する。/(復習)学んだ操作法を再確認し、未完了の練習課題を完成させる。	90 90	実行力 創造力
7週 /	レイヤー機能を使用して、複数の画像を合成する方法を知る。	実習:基本操作の確認と練習課題の作成 ※課題1の内容説明	レイヤー機能を使って画像を合成できる。	(予習)課題のアイデアを検討する。 (復習)学んだ操作法を再確認し、未完了の練習課題を完成させる。	90 90	実行力 創造力
8週 /	課題1 フォトコラージュ材料となる画像を収集し、加工をおこなう。	実習:課題の作成	提示された条件に従って課題を作成する。	(予習)課題作成のためのアイデアと材料を揃えておく。 (復習)未完了の課題を完成させる。	120 60	課題発見力 計画力 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	課題1 フォトコラージュ 課題作品の完成に向けて、画像の合成、編集をおこなう	実習:課題の作成	提示された条件に従って課題を作成し、提出する。	(予習)課題作成のためのアイデアと材料を揃えておく。 (復習)未完了の課題を完成させる。	120 60	課題発 見力 計画力 創造力
10週 /	レイヤースタイル、描画モードによる表現の可能性を知る。 ※課題1講評		レイヤースタイル、描画モードを使ってイメージを変化させることができる。	(予習)非破壊編集の方法をテキストで確認する。 (復習)学んだ操作法を再確認する。	90 90	実行力 創造力
11週 /	調整レイヤー、スマートオブジェクト、レイヤーマスクなど非破壊編集の方法を知る。	実習:基本操作の確認と練習課題の作成 ※課題1のプレゼンテーションと講評	非破壊編集による画像の補正、編集ができる。	(予習)文字の編集方法をテキストで確認する。 (復習)学んだ操作法を再確認し、未完了の練習課題を完成させる。	90 90	実行力 創造力
12週 /	文字の編集、様々な表現の方法を知る。	実習:基本操作の確認と練習課題の作成	テキストレイヤーを使って文字を編集することができる。	(予習)フィルタの種類やその効果をテキストで確認する。 (復習)学んだ操作法を再確認し、未完了の練習課題を完成させる。	90 90	実行力 創造力
13週 /	様々なフィルタの効果を確認する。	実習:基本操作の確認と練習課題の作成 ※課題2の内容説明	各種フィルタを使用することができる。	(予習)課題のアイデアを複数検討する。 (復習)学んだ操作法を再確認し、未完了の練習課題を完成させる。	90 90	実行力 創造力
14週 /	課題2 ポストカードの作成 ここまでで修得した機能の応用を試みる。	実習:課題の作成	提示された条件に従って課題を作成する。	(予習)課題作成のためのアイデアと材料を揃えておく。 (復習)未完了の課題を完成させる。	120 60	課題発 見力 計画力 創造力
15週 /	課題2 ポストカードの作成 ここまでで修得した機能の応用を試みる。	実習:課題の作成	提示された条件に従って課題を作成し、提出する。	(予習)(予習)課題作成のためのアイデアと材料を揃えておく。 (復習)これまでに提出した練習課題、課題を確認し、不十分なものについて、再制作・再提出する。	60 120	課題発 見力 計画力 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力